

所在地：熊本県阿蘇市
面積：10,821.6 ha

選定年月日：平成29年10月13日、令和3年3月26日及び令和5年3月20日追加・名称変更
選定基準：一(二)

(1) 概要

阿蘇市では、北外輪山及び中央火口丘の北斜面に大規模な草地が広がり、それぞれ阿蘇谷の平地へ向けて下るにつれて斜面は林地、山裾は居住地、平地は耕作地が広がっています。

平安時代の『延喜式(えんぎしき)』に阿蘇での馬生産を示す「牧」の記述があるように、阿蘇の草地は、千年以上にわたり、牛馬の放牧及び飼料用の草を得る場、耕作地に施す緑肥及びたい肥を供給する場、時には居住地の家屋の屋根及び生活用具の材料を供給する場等として継続的に利用されています。草地環境のみで生き残るヒゴタイ・ヤツシロソウ・ハナシノブ等の大陸系遺存植物が生息するネザサ・ススキ群落、シバ群落の草地が広がっており、全国的にも貴重な生態系が育まれています。

阿蘇神社の西方に位置する霜神社では、少女が火焚殿にこもって焚き木を燃やし続けて霜除けの祈願を行う火焚き神事が継承されており、阿蘇の気候風土と生活又は生業が密接な関係を有してきたことが理解できます。阿蘇神社参道沿いの商店街では、阿蘇谷の豊富な湧水を活用した商店街整備等の自主的な取り組みが継続的に実施されており、景観保全及び地域活性化が図られています。阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観は阿蘇の文化的景観を構成する要素として重要です。



毎年の春に行われる野焼き



外輪山や中央火口丘群に広がる日本最大の二次草原

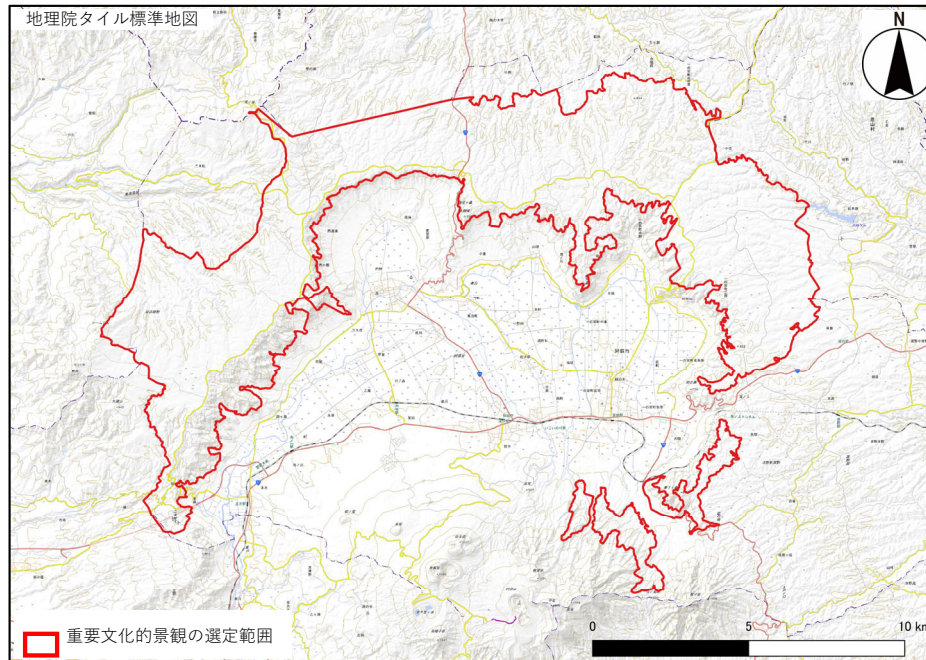


草原は家畜の餌の重要な供給源



草原に放牧されるあそ赤牛

（２）選定範囲



- 重要な構成要素：31件

（３）選定による効果

「阿蘇の文化的景観」は、火山由来のカルデラ地形の上に、草原や森林、集落、耕作地（水田・畑地）で構成される土地利用ユニットが連続的し、特徴的な景観を形成しています。

この土地利用を保護するにあたっては、広大な面積を誇る草原だけでなく、市街地や耕作地における現状変更等に際しても、文化的景観のあり方を著しく変化させないことや、価値を阻害しないことに対する配慮が求められます。このことから、保存活用計画により、自然保護、農業振興、観光推進、教育、地域振興等、文化財保護の枠組みを越えた総合的な取り組みを展開するための基本理念と方針を定め、関係する機関で共有を図っています。



草原



野焼き

（４）保存活用計画などの基礎情報

- 「阿蘇の文化的景観」保存調査報告書（平成28年3月、阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村）
- 阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観保存活用計画【阿蘇市版】（令和4年8月、阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村）
- ホームページ <http://www.asosekaibunkaisan.com/document/>

(5) 活用事例

阿蘇の文化的景観
阿蘇の文化的景観
阿蘇の文化的景観
阿蘇の文化的景観
阿蘇の文化的景観
阿蘇の文化的景観
阿蘇の文化的景観

阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観
南小国町西部の草原及び森林景観
湧蓋山麓の草原景観
産山村の農村景観
根子岳南麓の草原景観
阿蘇山南西部の草原及び森林景観
阿蘇外輪山西部の草原景観

(熊本県阿蘇市)
(熊本県南小国町)
(熊本県小国町)
(熊本県産山村)
(熊本県高森町)
(熊本県南阿蘇村)
(熊本県西原村)

No.43-04
No.43-05
No.43-06
No.43-07
No.43-08
No.43-09
No.43-10

事例43-04~10 ①

広大な草原の維持のため行動する人づくり「阿蘇グリーンストック」

●住民や団体等による取り組み

阿蘇の草原は、太古から野焼き・採草・放牧と人々の営みによって維持されてきました。しかし近年、高齢化や担い手不足により、草原の維持が困難となっています。

公益財団法人阿蘇グリーンストックでは、阿蘇の豊かな緑を後世へ引き継ぐことを基本理念として様々な取り組みを行っています。美しい阿蘇の草原を後世に残すための「野焼き支援ボランティア」は、講義と実技を交えた初心者研修会を行った上で、野焼き前の防火帯作りである輪地(わち)切り・輪地焼きや野焼きなどへ派遣し、地元の方々と連携し草原保全に取り組んでいます。

また多くの方々へ阿蘇の草原の美しさや価値を伝え、一緒に守りたいという思いを増すためにパネル展やシンポジウムなど普及・啓発活動にも力を入れています。

ほかにも阿蘇の草原を身近に感じてもらうと県内外の学生に向けた環境学習やファームステイなど体験プログラムも実施しています。

今後も多くの方に阿蘇の草原について伝え、一緒に考え行動できる取り組みを推進していきます。



あか牛を食べながら阿蘇の草原を考える



輪地切りの様子



野焼きの様子



講演の様子

団体等情報：公益財団法人阿蘇グリーンストック <https://www.asogreenstock.com/>

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す

⑤ 財源の
運用

⑥ 人づくり

(5) 活用事例

事例43-04 ②

サスティナブルツーリズムで千年の草原を守る

●行政と住民等の協働による取り組み

阿蘇に広がる草原は日本最大規模の面積を誇ります。この草原は「二次的自然」と呼ばれ、放牧や採草などで人々が千年以上にわたって自然と共存し形成したものです。壮大な草原景観は年間1,000万人以上の来訪者を魅了する観光資源ですが、牛馬の放牧のために一般の立入りを禁止していました。しかし、過去100年間で草原の面積は半分以下に減少し、持続可能な保全が困難になっています。

そこで、草原の観光活用と保全を両立させるため、草原を管理する牧野組合や観光関係者との協議を経てガイドラインが定められました。専門のガイドによる草原への案内や特定のアクティビティに利用を限定し、観光収入の一部を草原の保全に還元する仕組みが導入されました。これにより、草原のサスティナブルな観光活用が推進され、次の千年にわたって草原を守っていく取り組みが始まりました。

- ✓ スポーツ文化ルーズアワード2021スポーツツーリズム賞（スポーツ庁・文化庁・観光庁）
- ✓ サスティナブルな旅のアワード2023大賞（観光庁）



ホーストレッキング



阿蘇カルデラツーリズムホームページより

団体等情報：

阿蘇カルデラツーリズム推進協議会
<https://asocalderatourism.com/>



電動アシスト付きマウンテンバイクによる草原ライド

観光関係者の声

アクティビティ体験を通じた収益が草原保全に活かされることにお客様から「保存活動に参加できうれしい」とのお声をいただいています。これまで野焼きの作業についてボランティアをお願いしていますが、作業への協力が困難という方にとっては、アクティビティへの参加が保全への協力になるということでお客様のプラスαの喜びになります。このような理解が進むことで保全と観光の好循環がまわっていくと思います。

① 地域内での
魅力の共有

② 目標性の共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を
引き出す

⑤ 財源と
運用

⑥ 人づくり

（５）活用事例

事例43-04 ③

日本最大級の草原の絶景を空撮！ドローン飛ばし放題で草原を維持する牧野組合に貢献

●住民や団体等による取り組み

阿蘇の広大な草原は長年にわたって地域住民の手によって維持管理され、牛馬の放牧や餌の供給元、茅などの資材の供給元の間として農畜産業を中心とした生業にとって欠かせない存在です。しかし、農業形態や生活様式の変化、畜産業の低迷、農業従事者の減少・高齢者化によって広大な草原の維持管理の負担が増え収益確保が課題となっていました。

一方で国内で普及したドローンユーザーの間では優れた景観を空撮するというニーズが広がり、阿蘇の草原も関心の的でした。しかし、草原は放牧する牛馬の防疫や希少動植物保護の観点から牧野組合の管理の下で一般の立入りを禁止しており、また航空法の規制強化もあって気軽にドローン空撮を行える場所がありませんでした。

そこで県内のドローン事業者が草原を管理する牧野組合と提携し、「ドローン手形」として特定の草原を飛行エリアとして予約制で開放し、空撮や飛行練習、開発機体の実証実験やドローンレースイベントなどの場所として活用しています。手形の売り上げの一部を牧野組合に還元することで、草原維持のための新たな財源確保となっています。

個人向け	法人向け
 <p>南小国ドローン手形 MIDAMIBUNO DRONE FLIGHT PASS</p> <p>飛行可能：6箇所 展望所や押戸石の丘など多数の観光地を含む6ヶ所で飛行可能です。</p>	 <p>阿蘇ドローン手形 ASO DRONE FLIGHT PASS</p> <p>飛行可能：2箇所 普段は侵入禁止な牧野で、外輪山や運が良ければ雲海など撮影可能です。</p>
	 <p>阿蘇ドローン手形BIZ</p> <p>200haの日本最大のレンタルドローンフィールドです。イベント、デモ会、レース、実証実験など第三者が入らない広大な牧野を1日単位でレンタル可能です。</p>

ドローン手形ホームページより



牧野を貸し切って大型ドローンの飛行デモイベント



ドローン手形を利用して個人でも絶景を空撮

団体等情報： 株式会社コマンディー、農事組合法人西小園原野組合、馬場豆札牧野組合
<https://dronetegata.com/>

① 地域内での
魅力の共有

② 目標性の共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す

⑤ 財源の
確保と運用

⑥ 人づくり